

夏はたくましさを身に付ける時！



いいかも

可茂地区家庭教育学級応援通信

可茂県事務所 振興防災課
家庭教育推進専門職 安田
〒505-8508
美濃加茂市古井町下古井 2610-1
TEL: 0574-25-3111 内線 208
FAX: 0574-25-3934
令和4年 8月号

可茂地区トレジャーワード

「I (アイ) C (チャレンジ) T (トライ) ・親磨きで一步前進！」

美濃加茂市・可児市・坂祝町・富加町・川辺町・七宗町・八百津町・白川町・東白川村・御嵩町



No.5

白川町立黒川小学校

体験活動参加型+子育てサロン型



1 テーマ： 子どもの健康・安全を守るために保護者としてできること！
あと少しで夏休みが始まる。救命の方法をしっかりと身に付け、万が一の時、少しでも落ち着いて心肺蘇生に立ち向かえるようにしたい。加えて、子どもの成長や健康の保持増進のため、栄養について学び、日常生活の実践に結びつけたい。

2 期 日： 令和4年7月5日（火） 11:15～13:30 体育館・家庭科室にて

3 参加人数： 10名

4 講師： 黒川小教頭・白川町栄養教諭

5 主な活動： ①救命救急法講習会～心肺蘇生法を学ぶ～
②給食試食会 ③栄養講話（野菜の摂り方）

子ども達と同じ物をいただくのはうれしいものです。自分の小・中学校の頃を懐かしく思い出しながら、おいしくいただきました。

① 救命救急法

- ・救命の措置をするのとしないのでは、蘇生の確率は3倍ほど違う。
- ・プール、川に限らず、どこで誰が危険な状態になるかわからない。自分がその現場に遭遇するかもしれない。
- ・自然と体が動くくらいに繰り返し体験しておくことが大切



② 給食試食会

- ・久しぶりの給食、楽しみにしていました。子ども達も、教室で食べているかな。
- ・パンの大きさは、小・中一緒ですか？1年生の子には大きいかなあ。家の子、食べられるかな。
- ・バランスよく献立が考えられているね。



③ 栄養講話

・朝食と野菜摂取の大切さについて講話が進んだ。

～郷土を愛する子どもを育てる

心のごもった給食づくり～めぐして

白川町は自然豊かで地産産物があり、また白川の行事会、伝統食が家庭で子どもへ受け継がれていて素晴らしいですね。白川町学校給食センターでは、ご家庭や地域の思いや思いを給食に込めて、子どもたちの健やかな成長のため、栄養と愛情を込めて、安心安全に努めて給食を提供しています。

献立をたてる時に心掛けていること

1. 成長期に必要な栄養素が確保できるようにする。
不足しがちなカルシウム、鉄、食物繊維が多くとれるように、牛乳、乳製品、小魚、海藻類、野菜を取り入れる。
2. 薄味に心掛ける。
小学校低学年までが、味覚を形成する大切な時期です。
3. 食品添加物、旨味調味料はできるだけ使わない。

たまキャベツ



【材料】（1人分）

たまご	1個
キャベツ	1枚
お好み焼き	お好みで
ソース	お好みで
マヨネーズ	お好みで
かつお節	お好みで
青のり	お好みで

【作り方】

- ① キャベツを半切りにする。
- ② お皿に①のキャベツをドーナツ状にし、真ん中に卵を落とす。
- ③ 黄身につまようじで穴をあける。（揚げを助ぐため）
- ④ レンジで加熱する。（600W、1分～2分）
- ⑤ お好みで、お好み焼きソース、マヨネーズ、かつお節、青のりをトッピングする。

忙しい朝でも、たくさん野菜が食べられる一品です。ケチャップ味にしてもおいしいです。

救命救急法を身に付けておくのはとても大切なことであり、毎年欠かさず行っているとのこと。川・プールだけでなく、熱中症への対応にも活用できると、参加者は皆、積極的に取り組まれた。保護者で看護師さんの学級生が適宜アドバイスをしてくださり、実技がスムーズに進んだ。栄養教諭からの「野菜摂取の大切さ」や野菜がたくさん摂れる献立紹介は、とてもためになった。一回で三つの内容が学べる会の持ち方にも工夫を感じた。





No.6

美濃加茂市山手 2歳乳幼児期家庭教育学級

体験活動参加型+子育てサロン型

- 1 テーマ：親子でのびのび体を動かして触れ合おう！
- 2 日時：令和4年7月8日（金）10：00～11：30
- 3 参加人数：親子10組（20人）市担当者4人
- 4 講師：健康運動指導士 金子 真美様
- 5 主な活動：
 - ・はじめの会（あいさつ・ふれあいあそび・グループトーク「食事や歯磨きで気を付けていること」）
 - ・親子体操・読み聞かせ・終わりの会（次回のお知らせ・アンケートの記入）

※美濃加茂市生涯学習センターにて

「親子体操」

明るくはつらつとした講師の指導のもと、皆、楽しく体を動かし、ふれあいの時間をもつことができました。
 ・抱っこで一周 ・両手で持ち上げ駆けっこで一周 ・ボール集め ・「はいはい」で競争 ・リズムダンス等



<参加者より>

- ・学級には、昨年度から参加している。一人目の子どもなので、自分も子どもにも友達があつた。
- ・子どもは三人いるが、一人目の子の時には、このような学級があることを知らなかった。二人目から参加するようになり、今にいたっている。子どもの成長は、あつという間。今の時期を皆さんと一緒に楽しみたい。
- ・美濃加茂市は校区ごとに乳幼児期の学級を行っている。今、一緒に活動している子は、今後、保育園や小学校までずっと一緒に過ごすことになる。できるだけ、早いうちに友達を作りたい。

インタビューをすると、このような声が多く聞かれました。

保護者の自主的な運営と市担当者のサポート体制の充実ぶりが感じられる講座であった。小さな子ども達の発達段階からじつと話を聞くというのは難しい部分があるため、このように親子で一緒に体を動かし触れ合うという内容は、好評である。心と体がほぐれ、温かな気持ちになることができる。グループトークの時間を設け、それを交流することも学びにつながることである。



2学期以降の家庭教育学級は？ 家庭教育学級の学習形態には5つの型【学校行事参加型・体験活動参加型・講演会型・子育てサロン型・在宅取組型】があることを、皆さん、ご存じですね？一学期に訪問させていただいた9つの学級を思い浮かべると、型を組み合わせることで学びを充実させている学級が多いことがわかります。

例えば
こんな工夫ができます

工夫①◇組み合わせることによって効果がふくらみます！
 【講演会型】+【在宅取組型】=学びを日々の生活に
 【体験活動参加型】+【子育てサロン型】=楽しみと交流・学び

見通しをもち、一つ一つの手続きや準備を丁寧に進めましょう！

工夫②◇合同開催◇

他の幼稚園・保育園・こども園、小・中学校、市町村と合同で開催する。
 →参加者増が期待できます。また、謝金の分担などもできます。
 →小・中学校区で合同開催すると、より成果が期待できます。

【家庭教育学級運営マニュアル（令和改訂版）】P5より

計画や準備も楽しみの一つになるとよいですね。



No.7

可児市子育てまなび講座

講演会型

1 テーマ： 保護者に知ってほしい、いのちのふれ愛教育
 ～自分のからだを知る・守る～

※可児市
福祉センターにて

2 日時： 令和4年7月14日（木）10：00～12：00

3 参加人数： 約80人（可児市内の幼稚園・保育園保護者対象）

4 講師： 可児市こども応援センターばあむ

臨床心理士・公認心理師 鬼頭 拡美様



<性の正しい知識は子どもを守る>

- ・正しい知識を得た子は、危険を察知すると、毅然とした態度で対応できるようになる。
- ・親がいつも子どもに張り付いて見ているわけにはいかない。子どもに「自分の身を守る方法」を身に付けさせることが大切。
- ・正しい知識を身に付けさせることは、子どもを被害者にも、加害者にもさせないことにつながる。

<プライベートゾーンを是非、家庭でも教えて>

- ・体はどこも大切だが、人に見せても触らせてもいけない自分だけの大切な場所がある。それは、「胸」・「性器」・「おしり」、体の入り口である「口」である。「プライベートゾーン」もしくは「水着ゾーン」という。

<幼児期になぜ「性教育」が必要か？>

- ・自分で自分の体を守ることに時期が早すぎるということはない。
- ・幼児期を逃すと、今後は、インターネットの情報に振り回される。
- ・幼児期は、性教育の土台の時期。「性」は「生」。

<いのちのふれ愛教育とは>

「自分の身を守る教育」「いのちのバトンを繋いでいく教育」

「保護者から

子どもに伝えてほしい言葉」

「あなたも生まれてよかったから生まれてきたのよ。生まれてきてくれてありがとう！」

「子育てまなび講座」は、子育て支援課の主催で、子育て中の保護者を対象に、年5回、講座を計画・運営している。第1回は、市の職員が講師を務めた。幼稚園・保育園の保護者が対象で、小さい子連れでも参加しやすいよう敷物を用意した親子席を会場の後方に設営するという配慮があった。ホールの一角に、講座の内容と関連した絵本のコーナーが設けられていた。豊富なデータと説得力のある話に引き込まれ、魅力的なデジタル画像に注目し、あっという間に2時間が過ぎた。



<参加者より>

- ・まだ先のことだと思っていた性教育が、幼児期の今こそ必要だと強く思った。
- ・わかりやすいお話だった。身近なこととして知ることができた。
- ・「危険を感じたら人のいる方へ逃げる、家の中へ逃げ込む、大きな声をだす。」等、身を守る方法を具体的に子どもに教えることが大切だとわかった。
- ・家で子どもに話していることは間違いではなかったと思った。

No.8

美濃加茂市立下米田保育園

学校行事参加型



- 1 テーマ： 親子で夏祭り縁日の準備をしよう！
 - 2 日時： 令和4年7月15日（金）9：15～10：30 下米田保育園
 - 3 参加人数： 20人（年少・さくら組保護者）
 - 4 主な活動： ①朝の会 ②親子工作 ③終わりの会
- ① 【朝の会】

園長より

コロナの心配があり、思うように行事が実施できない状況が続いていますが、さくら組の20人は、入園後、元気に過ごしています。保育園の生活に少しずつ慣れ、現在、当番や係の仕事にも挑戦しています。今日は、保育参観ということで、ふれあいの時間をもつ意味で親子工作を計画しました。どうぞお楽しみください。

- ・盆踊り「月夜のポンチャラリン」「ダンシング・ヒーロー」・お誕生会・歌・絵本読み聞かせ「やたいのおやつ」

② 【親子工作】 保育士さんの活動説明や安全面についての指導が、掲示物を示しながら丁寧すすめられた。

「縁日の屋台に並んでいるチョコバナナにくっつけるチョコをハサミで切り取ろう！」

色紙をハサミで細かく切り、すでに作っておいたバナナに貼りつけ、チョコバナナを完成させようという活動である。子ども達は慣れない手つきでハサミを持ち、紙を細かく切り刻み、チョコチップを作り、それをノリで貼りつけていく。作業のほとんどを子どもが行い、お母さん方は、そばで声をかけながら見守っている。



～母親のつぶやきから～

- ・細く～細く～。切れたら箱に入れようね。大丈夫、上手だよ。
- ・美味しそうだね。いいよ、〇〇くん、職人だね。
- ・すごく細かいね。こだわっているね。
- ・さあ、バナナにのりをつけよう。ぱらぱらとね。
- ・今度、こちら側にのりをつけたらどうかなあ。
- ・いっぱい切ったから、いっぱいつけないとね。
- ・おいしそうなチョコバナナだね。



保育園にお母さん達が来てくださり、いつもと違う雰囲気の中で活動するのがうれしいような、甘えたいような…。初めての参観に、子ども達の気持ちは高揚したようです。



行事のモチにくい日が続いているが、7月に組ごとの保育参観を計画・実施している。新入園児の保護者にとっては、待ちに待った園の行事ということで、とても楽しみにしておられた。園行事と親子活動を組みあわせ、よい時間を生み出している。世の中の状況を見ながら、このような機会を今後も持てること期待している。親御さんの認めや励ましは、子育ての魔法の言葉です。

【積極的な広報活動】を行いましょう！

家庭教育学級の開催案内を配布することに加え、広報活動を組み合わせて工夫することで対象者の参加意欲をさらに向上させることができます。広報活動によって、家庭教育学級への参加者が増えると、会を企画するリーダーの喜びも増します。参加者が増えれば増えるほど、参加者が満足する会にしようとする気持ちも高まります。

各種通信等での
情報提供

ホームページでの
情報提供

メールの活用

クチコミ



家庭教育学級運営マニュアル（令和改訂版）P17より

家庭教育学級の様子や講話の内容を知らせることで、参加できなかった方も同じような学びをすることが出来ます！